

みんなの広場



あてやかな振り袖に身を包み、再会を喜ぶ新成人（市民センター）



1.8

大川内圭子さん（東円蔵寺）が寄贈されたソメイヨシノ5本を都川内森林公園（大川内町）に実行委員で植樹

国際交流ひろば

遊びを通して楽しく学ぶ

外国人との交流を通して国際理解の促進につながることを目的とした国際交流ひろばが、大坪コミュニティセンターであり、親子 58 人が参加しました。子どもたちは、アメリカ、コソボ共和国、ジンバブエの講師からそれぞれの国の文化などを学んだあと、各国の遊びを体験。英語を交えながら交流し、会場は笑顔であふれていました。



12.19

↑アメリカの『だるまさんがころんだ』では講師の「グリーンライト」、「レッドライト」の声に合わせて楽しくゲーム

令和4年成人式

晴れやかな気持ちで決意新たに

20歳の門出を祝う成人式は、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として市内7会場に分散して開催され、624人が大人の仲間入りをしました。式典の企画や運営を行ったのは、各町（地区）から選ばれた21人の実行委員。話し合いを重ね、思い出に残る成人式を作り上げました。会場では振り袖やスーツ姿の新成人が友人との再会を喜び合いました。



1.9

↑啓成中学校会場の様子。大人への第一歩を踏み出す新成人

市と久米島町の小学生交流事業

800 km離れたまちに思いをはせる

滝野小・中学校の児童生徒が佐賀大学海洋エネルギー研究中心伊万里サテライト（山代町）で久米島町立大岳小学校とオンラインで交流しました。これは、佐賀大学が研究する海洋温度差発電の研究施設が両市町にあることを契機とした連携協定に基づく事業の一環。海洋温度差発電の学習や互いの地域文化の紹介を通じ、理解を深め合いました。



12.22

↑5回目となる今回は、中学生を含む全校児童生徒が参加

MEET UP! SAGA 移住者の集い 佐賀の暮らしを、もっと楽しもう

県内での暮らしを楽しむための移住者の集いが佐賀県の主催でありました。市内や周辺市町への移住者9人が参加して、案内人によるまち歩きや座談会で交流を深めながら、伊万里の魅力を発見していました。Uターンしてきた参加者は「若い人たちによって新しいカフェなどができてきて、これからの伊万里が楽しみ」と話されました。



『地域商社 伊万里百貨店』の代表村上武大さん（右から1人目）が案内人となってまち歩き



↑伊万里まちなか一番館（伊万里町）では移住者と地元の人が輪になって交流。熱いトークが繰り広げられています

SAGAものスゴTOUR ものづくりをリアルに体験！

SAGAものスゴTOURは、ものづくりの楽しさを伝えるとともに、ものづくり企業の魅力を発信することを目的に佐賀県が実施し、伊万里ツアーには市内外から約80人の親子が参加しました。中国木材株式会社（山代町）を見学し、株式会社まるきんのキザクラ工場（二里町）ではウキ作りの職人技などを体験し、楽しんでいました。



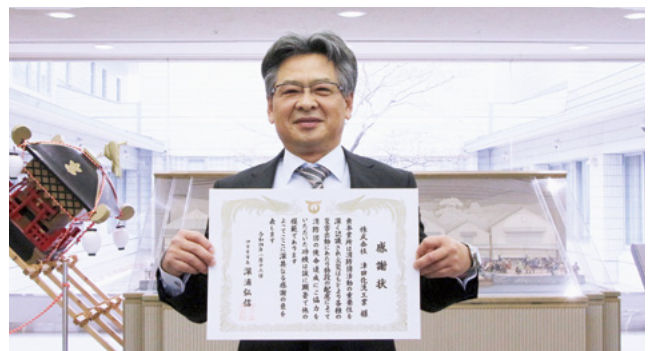
↑習得するまでに何年もかかると言われる筆を使ってウキに模様を描く職人技を習い、実践

伊万里市消防出初式 地域住民から信頼される消防団

市消防出初式は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため規模を縮小し、市内11分団から147人が集結し、市民センターで行われました。消防団協力事業所・永年勤続者・優良消防団員の表彰や退職消防団員への感謝状贈呈があり、力武博典団長が「消防団は自然災害の脅威から住民を守る要である」と団員たちに訓示しました。



職務遂行への決意を新たにする消防団員たち



↑消防団協力事業所表彰を受けられた株式会社津田化洗工業の津田 悟 代表取締役社長

いまりミントカレッジ 暮らしの中に学びと出会いを

身近なものをテーマに学びを深める生涯学習プログラム「森羅万象物語」が市民図書館で開催されました。これは、図書館を使ってワクワクしようと集まった伊万里ミントカレッジ実行委員会が主催したものです。第1回講演は、気象予報士の石掛貴人さんを講師に招き、近年の自然災害などを基に今後の気象変化の予測や防災について考えました。



↑県内での豪雨災害時の降水量などの実例も交えて防災を呼びかける石掛さん